

平成 18 年 6 月 21 日

中部飼料株式会社

平成 18 年 7 ~ 9 月期の畜産配合飼料販売価格のお知らせ

平成 18 年 7 ~ 9 月期の畜産配合飼料販売価格については、以下の飼料原料・外国為替情勢などを踏まえ、平成 18 年 4 ~ 6 月に対し、全畜種平均トン当たり約 300 円値下げすることを決定いたしました。

なお、改定額は、地域別・畜種別・銘柄別に異なります。

参考

平成 18 年 4 ~ 6 月 全畜種平均改定額 0 円 / トン

平成 18 年 7 ~ 9 月 全畜種平均改定額 約 300 円 / トン

飼料穀物

とうもろこしのシカゴ定期は 今年度作付面積が昨年度より減少したこと エタノールの需要増加による期末在庫の減少で相場は 7 月限 ϕ 260 台まで高騰しました。作付は順調に進捗し早魃懸念があるものの現在は適度な降雨により相場は ϕ 240 台まで下落しやや軟化傾向にあります。

7-9 月期のとうもろこし価格は 4 - 6 月期比シカゴ定期は堅調なものの海上運賃の値下がり
と円高の影響から若干の価格低下が見込まれます。

蛋白原料

大豆油粕のシカゴ定期は米国産大豆の期末在庫予想が史上最高を更新しており 5 月中旬以降 \$ 170 ~ 175 / ST で推移しました。天候相場に入った 6 月初旬、早魃懸念から \$ 180 / ST 台に急騰し現在、強含みで推移しています。

7-9 月期の国内大豆油粕は国内大豆油粕需給はタイト感はあるものの円高の影響により 4 - 6 月期比若干の値下げが見込まれます。

魚粉価格は ペルーの 40% 漁獲枠削減 中国の旺盛な需要から 4 - 6 月期比 20,000 円/t と大幅な値上りが見込まれ、さらに上昇傾向にあります。

海上運賃

米国ガルフ - 日本のパナマックス型海上運賃は新造船の大量竣工により軟化傾向にありましたが中国産ともろこしの輸出停止や南米産穀物のコンスタントな荷動きでジリ高の展開となっております。今後は鉄鋼石の 19% 値上げが決まり中国向け輸入の勢いが強まりマーケットは堅調に推移しております。

7-9 月期は 4 - 6 月期に比べ値下げが見込まれます。

外国為替

4 月末の G 7 での世界的不均衡の是正がテーマとなり 117 円から 113 円台へドル安基調で推移しました。5 月は米国の利上げを背景としたドル買相場が終了し経常収支の不均衡を背景としてドルは下落し 113 ~ 111 円で終始しました。6 月に入り米国雇用統計の予想外に悪い結果から 113 円から 111 円前半まで円高が進みましたがその後米国の利上げ期待感から現在 114 円後半で推移しております。

7-9 月期の外国為替は 4 - 6 月期に比べ若干の円高が見込まれます。

以上